

国家試験対策チャレンジ【獣医師編】

回答 & 解説

間違いは伸びしろ。本番前に気づけた分だけ、確実に強くなれます。「理解して正解」が増えるほど、試験当日の不安は減っていきます。焦らず、今日のミスを明日からの武器にいきましょう！

問1

「獣医師法」で定められた獣医師の義務として誤りはどれか。

科目 | 獣医事法規

- ① 個人情報の保護義務 ② 保健衛生指導義務 ③ 診断書の交付義務
④ 応召義務 ⑤ 検案簿の作成義務

【正解】①

【解説】個人情報の保護は、獣医師法ではなく、個人情報保護法で定められている義務です。

問2

頸動脈小体が感知するのはどれか。

科目 | 生理学

- ① 血圧 ② 血流速度 ③ 体液量 ④ 酸素分圧 ⑤ 血糖値

【正解】④

【解説】頸動脈小体は血中の酸素や二酸化炭素の分圧、pHの変化を感知し、中枢に信号を送ることで呼吸の調節に関わっています。

問3

犬の副腎皮質機能亢進症に関する記述として正しいのはどれか。

科目 | 内分泌代謝病学

- ① 医原性と自然発生性の鑑別にACTH刺激試験は有用である。
② 下垂体依存性よりも副腎依存性が多い。
③ 症状として食欲不振と乏尿がみられる。
④ ASTの高値とALPの低値が特徴的である。
⑤ グルココルチコイド欠乏により発症する。

【正解】①

【解説】犬の副腎皮質機能亢進症はグルココルチコイド過剰により発症し、犬では副腎腫瘍によるものより下垂体性副腎機能亢進症が多くみられます。症状は多飲多尿や多食が特徴的で、血液化学検査ではALPやALTの高値がみられやすいです。



3D解剖アトラス - IVALA LEARN

「知りたい」に呼応する
次世代獣医療学習



革命的な学習体験 アトラスは平面から立体へ

- 鮮やかなグラフィックによる実物に近い質感
- 直感的な操作で骨格、筋肉、臓器を360度観察
- 時間、場所に縛られない学習の実現

学生無料 解剖学の学習・国家試験対策にご活用ください

EDUWARD
Press

お申込みは
こちらから

